進路だより

秋田県立秋田きらり支援学校
第３号
令和２年８月２８日発行

卒業生の生活③

今号は、令和元年度に卒業したＣさんを紹介します。Ｃさんは、３つの事業所（生活介護）を利用しながら自宅で家族と生活をしています。Ｃさんご本人に、現在の生活の様子について詳しくお聞きしました。

進路先を決める際、大切にしたことは何ですか？

高等部の現場実習で、事業所の雰囲気を知ったり、作業や入浴の支援を実際に体験したりして、自分に合っている事業所に決めました。

進路先を３つにした理由は何ですか？

事業所を複数利用することで、たくさんの人と交流できると思いました。

進路先を３つにしてよかったこと、大変なことは何ですか？

〇よかったこと～実際にいろいろな人と出会うことができ、仲良くしていただいています。

〇大変なこと　～事業所によって持ち物が違うので、その準備が大変です。

事業所での過ごし方を教えて下さい。

事業所名	利用曜日	利用時間	送迎	主な過ごし方
障がい福祉サポートセンター聖和	木	10:00～15:00	あり	・入浴サービス（午前） ・余暇活動（午後）
指定障害福祉サービス事業所　中野つくし苑	月・水・金	10:00～15:30	あり	・軽作業 （盆灯籠作り、もろへいやの葉取り、作品展に向けての制作等）
ひだまり	火	10:00～16:00	あり	・入浴サービス（午前） ・余暇活動（午後）

絵を描くことが好きで、絵の道具や紙を持参しています。
また、周囲の方とのコミュニケーションも楽しんでいます。

休日はどのように過ごしていますか？

土日は、ゆっくりと眠って体を休めるようにしています。後は、自分の趣味の絵を描いたり、テレビを観たり、タブレットゲームをしたりして過ごしています。

学校生活との違いはどんなことがありますか？

「自分でやらなくてはいけないことを自分で探して考えること」が必要になります。また、年上の方が多いので誰にでも敬語で話すようにしています。

学校生活で学んでいてよかったことはありますか？

言葉遣い（敬語）です。

後輩へ一言どうぞ！

社会に出ると、「敬語」が大事になります。苦手な人がいたとしても態度に出さず「きちんとした態度と言葉遣い」をすることが大切です。

（文責：神部）

裏面は学部により内容が異なります。他学部の進路だよりをご覧になりたい方は、担任にお伝え下さい。また、学校のホームページと玄関前の掲示板でも見ることができます。

【各学部掲載記事】
小学部：小学部からの進路
中学部・高等部：「今すぐやろう」
～身に付けておくべき態度、習慣の育成
【共通記事】 今年度の同窓会の活動

小学部からの進路

保護者Ａさん

元気でいてくれるだけでいい。
と思って、ここまできました。
子どもの笑顔がなにより。
卒業後なんてまだ考えられません。

Ａさんが、たくさんの試練に、一つずつ挑んでこられた道行きを思います。
前号でもお伝えしたように、「進路＝卒業後」ではなく、小学部に入学したときから進路につながる勉強は始まっています。先輩の様子を知るために、先輩保護者の方に話を聞いたり、この進路だよりを活用したりしてみてはいかがでしょう。

面談で、「具体的な進路を」と聞かれるけれど、うちの子が卒業する頃には、Ａ作業所やＢ施設に空きはないかもしれないし…

保護者Ｂさん

Ａ作業所やＢ施設をお考えなのですね。排せつや医ケアなどお子さんに応じた要件や、移動の段差、送迎、etc。見学や体験がとても大事になってきます。雰囲気も、知っておきたいですね。

卒業時にＡ作業所やＢ施設が満員だとしても、それらを選ぶ視点をもったことが大切なのです。その視点をもとに、卒業時の選択をしていけるからです。

（文責：若月）

今年度の同窓会の活動

平成２７年に卒業した、会長のＤさんです。

秋田きらり支援学校の同窓会は、会員同士の親睦を図り、進路の学習等を通して母校の教育の発展に寄与することを目的に設立し、今年度で１０周年を迎えました。現在の会員数は１１２名です。運動会ときらり祭への来校を呼び掛けたり、同窓会の総会を開き、新成人をお祝いする会を開いたりしています。また、会報を年２回発行し、会員同士の近況や同窓会の活動内容について紹介しています。

LINE の役員会の様子です。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症が流行し、例年どおりの活動を行うことが難しくなりました。そこで、役員会と事務局では次の工夫をし、活動しています。

①定例役員会（５月）　・LINE のグループトークで実施
②同窓会総会（８月）　・書面による審議
③同窓会成人を祝う会（８月）　・来年度へ延期
　・新成人の方々へお祝いのメッセージを届けるため、会員への協力を呼び掛け

運動会は、新型コロナウイルス感染症のため中止になり、楽しみにしている同窓生にとっては残念でしたが、学校の判断を伝え、中止の案内をしました。今後も、状況によっては昨年度までとは違う対応を考えていきたいと思います。母校を訪問し、後輩の活躍を楽しみにしている同窓生も多くいますので、学校の様子や後輩の皆さんの頑張る姿をお伝えできるよう、役員会のみなさんと相談しながら活動を進めていきたいと思います。

（文責：笹渕）